

6 小学校 教育計画作成ポイント一覧（ ） 小学校 チェック日（ ） チェック

項目	ポイント	レ	レ
国語	教科経営案		
	年間授業時数 第1学年（306時間） 第2学年（315時間） 第3学年・第4学年（245時間） 第5学年・第6学年（175時間）		
	評価規準		
	話す・聞く（要配当時数） 第1学年・第2学年：35単位時間程度、第3学年・第4学年：30単位時間程度、 第5学年・第6学年：25単位時間程度		
	書く（要配当時数） 第1学年・第2学年：100単位時間程度、第3学年・第4学年：85単位時間程度、 第5学年・第6学年：55単位時間程度		
	ローマ字（第3学年）		
	毛筆（第3学年以上の各学年）		
	書写（要配当時数）30単位時間程度 *書写の時数は適宜と入れず、想定する時数を入れること		
社会	教科経営案		
	年間授業時数 第3学年（70時間） 第4学年（90時間） 第5学年（100時間）第6学年（105時間）		
	評価規準		
	第3学年・第4学年 全体として各学校の属する地域にあわせた教材開発が必要。		
	第3学年（2）生産と販売の両方を扱う。		
	第3学年（3）火災と事故の両方を扱う。		
	第4学年（2）ア(ア)及びイ(イ)飲料水、電気、ガスの中から選択して取り上げる。		
	第4学年（2）ア(イ)及びイ(イ)ごみ、下水のいずれかを選択して取り上げる。		
	第4学年（3）自然災害は、過去に県内で発生したものを扱う。		
	第4学年 （4）ア(イ) 及びイ(イ) 開発、教育、医療、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人の中 から選択して取り上げる。		
	第4学年 （5）伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域、国際交流に取り組んでいる地域及び地域 の資源を保護・活用している地域を取り上げる。 その際、地域の資源を保護・活用している地域については、自然環境、伝統的な文化のい ずれかを選択して取り上げる。		
	第5学年 （2）ア(イ)及びイ(イ)稲作のほか、野菜、果物、畜産物、水産物などの中から1つ取り上げる。		
	第5学年 （3）ア(イ)及びイ(イ)金属工業、機械工業、化学工業、食料品工業などの中から1つ取り上げる。		
	第5学年 （4）ア(ア)「放送、新聞などの産業」については、それらの中から選択して取り上げる。		
	第5学年 （4）ア(イ) 及びイ(イ)情報や情報技術を活用して発展している販売、運輸、観光、医療、福祉 などに関わる産業の中から選択して取り上げる。		
	第5学年 （5）ア(ア)地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などを取り上げる。		
	第5学年 （5）ア(ウ)及びイ(ウ)大気の汚染、水質の汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げる。		
	第6学年 （1）ア(イ)「国や地方公共団体の政治」については、社会保障、自然災害からの復旧や復興、 地域の開発や活性化などの取組の中から選択して取り上げる。		

項目	ポイント		レ	レ
算数	教科経営案			
	年間授業時数 第1学年（136時間） 第2学年～第6学年（175時間）			
	評価規準（単元ごと）			
理科	教科経営案			
	年間授業時数 第3学年（90時間） 第4学年～第6学年（105時間）			
	評価規準			
生活	教科経営案			
	年間授業時数 第1学年（102時間） 第2学年（105時間）			
	評価規準			
	カリ リス タ キ ユ ー ム	関連のある単元を矢印で結んだ単元配列表		
		弾力的な時間割の設定（週のねらい、学習の分類※分類マーク等）		
音楽	教科経営案			
	年間授業時数 第1学年（68時間） 第2学年（70時間） 第3学年・第4学年（60時間） 第5学年・第6学年（50時間）			
	評価規準			
	国歌「君が代」（いずれの学年においても歌えるよう指導すること）			
	第1学年共通教材「うみ」「かたつむり」「日のまる」「ひらいたひらいた」4曲全て			
	第2学年共通教材「かくれんぼ」「春がきた」「虫のこえ」「タやけこやけ」4曲全て			
	第3学年共通教材「うさぎ」「茶つみ」「春の小川」「ふじ山」4曲全て			
	第4学年共通教材「さくらさくら」「とんび」「まきばの朝」「もみじ」4曲全て			
	第5学年共通教材「こいのぼり」「子もり歌」「スキーの歌」「冬げしき」のうち3曲			
	第6学年共通教材「越天楽今様」「おぼろ月夜」「ふるさと」「われは海の子」のうち3曲			
	※小学校入学当初においては、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。			
	※第3学年及び第4学年で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、リコーダーや鍵盤楽器、和楽器などの中から児童や学校の実態を考慮して選択する。			
図画工作	教科経営案			
	年間授業時数（造形遊び、絵や立体、工作、鑑賞の配当時数） 第1学年（68時間） 第2学年（70時間） 第3学年・第4学年（60時間） 第5学年・第6学年（50時間）			
	評価規準			
	※授業時数については、工作に表すことの内容に配当する時数が、絵や立体に表すことの内容に配当する時数とおおよそ等しくなるように計画する。			
家庭	教科経営案			
	年間授業時数 第5学年（60時間） 第6学年（55時間）			
	評価規準			
	①＊ガイダンス：A（1）「自分の成長と家族・家庭生活」Aは第4学年までの学習を踏まえ、第5学年の最初に履修 ②＊A（4）「家族・家庭生活についての課題と実践」を2学年間で1つまたは2つの課題を設定して履修 ③＊B（2）「調理の基礎」及び（5）「生活を豊かにするための布を用いた製作」については2学年間にわたって取り扱う。			

項 目		ポイント		レ	レ		
体育	教科経営案						
	年間授業時数 第1学年（102時間） 第2学年～第4学年（105時間） 第5学年・第6学年（90時間）						
	保健時数 第3学年・第4学年（8時間） 第5学年・第6学年（16時間）						
	評価規準						
外国語活動 ・ 外国語	教科経営案						
	学習指導要領に関連付けられた学年目標（「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標）						
	年間授業時数 第3学年・第4学年（35時間） 第5学年・第6学年（70時間）						
	学年目標につながる単元目標及び評価規準						
	中心となる言語活動及び言語材料						
道徳教育	道徳教育の全体計画	把握基本的事項	教育関係法規、時代や社会の要請や課題、教育行政の重点施策				
			学校や地域の実態と課題、教職員や保護者の願い				
			児童の実態と課題				
		具体的計画事項	学校の教育目標、道徳教育の重点目標、各学年の重点目標（各目標の整合性に留意すること）				
			道徳科の指導の方針（道徳の時間の指導の方針とならないよう留意する）				
			各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動などにおける道徳教育の指導の方針、内容及び時期		別葉		
			家庭・地域社会等との連携の内容及び時期				
			他の学校や関係機関との連携の方法				
			特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導の方針、内容及び時期				
			学級、学校の人間関係、環境の整備や生活全般における指導の方針				
	道徳教育の推進体制						
	道徳科の年間指導計画	各学年の基本方針					
		指導の時期 ＊年間授業時数：第1学年（34時間） 第2学年～第6学年（35時間）					
		主題名					
		ねらい					
		教材（教科書以外の教材については出典も併記）					
		主題構成の理由					
		学習指導過程と指導方法					
		他の教育活動等における道徳教育との関連					

項 目	ポイント					レ	レ		
総合的な 学習の時間	全体計画	必須の 要件	各学校における教育目標						
			各学校において定める目標						
			各 学 校 に お い て 資 質 ・ 能 力	目標を実現するにふさわしい探究課題					
				資 質	な 指 す	解 決 育 決 究	（１）知識及び技能		
				具 成 を	課 体 を	通 題 の	（２）思考力、判断力、表現力等		
					（３）学びに向かう力、人間性等				
		概 括 的 に 示 す	学習活動						
			指導方法						
			指導体制（環境整備、外部との連携を含む）						
			学習の評価						
	年間指導計画	主 たる 要 素	単元名						
			各単元における主な学習活動						
			活動時期						
			予定時数 第3学年～第6学年（70時間）						
特別活動	全体計画	特別活動の重点目標							
		各活動・行事目標							
		各教科等との関連							
		評価の観点（各学校で設定したもの）							
	年間指導計画	学 習 指 導	指導内容（10項目）と時期 *（１）ア・イ・ウ（２）ア～エ（３）ア・イ・ウ						
			配当時間 第1学年（34時間） 第2学年～第6学年（35時間）						
		児 童 会 活 動	組織と構成						
			各組織の主な活動						
		ク ラ ブ 活 動	クラブの組織と構成						
			年間に予想される主な活動と活動時間						
		学 校 行 事	各行事ごとのねらい						
			五つの種類の学校行事ごとの実施時期と内容及び授業時数						
	評価規準（内容のまとまりごとの評価規準）								



以下のようなケースも注意してください。

※教科経営案の目標が旧学習指導要領におけるものになっていないか。		
※評価が旧観点で示されていないか。 現行：【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		